

平成27年度事務事業評価シート						取組みコード	42213
区分	イベント		担当課	スポーツ・文化振興課	作成日	平成27年5月14日	
事業名	各種スポーツ行事開催事業費(町一周駅伝競走大会)		開始年度	昭和30年度	予算科目	9.5.1.3.1	

1 事業の概要

総合計画での位置づけ			
部	第4部 豊かな人間性を育む文化のまちづくり	章	第2章 活発で個性豊かな文化づくり
節	第2節 スポーツ・レクリエーション活動の推進	基本施策	1 スポーツ・レクリエーション活動の推進
取組みの基本方向		(3)駅伝大会などスポーツイベントの充実をはかるとともに、地域でのスポーツ行事の振興につとめます。	
根拠法令等			
目 的			
(誰・何を対象に、何のために)		大会を通じて本町のスポーツ振興と参加チーム相互の親睦交流に資することを目的とする。	
内容・方法			
(何を行っているのか)		町内の行政区で構成されたチームを1部、町内の事業所、走友会等で構成されたチームを2部として、チーム対抗の駅伝大会を行う。	

2 指標(事業の成果・活動内容等を数字で表します)

本事業が属する総合計画の節の成果指標		指標名		平成21年度	平成28年度			
		『スポーツ・レクリエーション活動の推進』について「満足」と感じる住民の割合		36.7%	42.0%			
		スポーツ施設の利用者数		477,412人／年	500,000人／年			
(A)総合計画の節の目標を達成するため本事業に求められる成果				各行政区からチームが出場し、出場者のスポーツに対する意識の向上、また出場者同士の親睦交流が深まること。				
(A)の成果をあげられているか測るための指標(成果指標)		増減	指標の説明	項目	基準年度 (平成24年度)	平成25年度	平成26年度	平成27年度
参加チーム数		増	参加チームが増えれば大会も盛大に開催でき、出場者同士の交流もより深まる。	計画値		43.0	43.0	45.0
				実績値	43.0	43.0	45.0	
				達成度※自動計算		100.0	104.7	0.0
(B)成果指標の目標を達成するため本事業において町が行う活動			参加チーム募集の広報啓発					
(B)の活動状況を測るための指標(活動指標)		増減	指標の説明	項目		平成25年度	平成26年度	平成27年度
参加チーム募集の広報啓発件数		増	広報、ホームページへの掲載及び本庁など4箇所での要綱等配布	計画値		6.0	6.0	6.0
				実績値		6.0	6.0	
				達成度※自動計算		100.0	100.0	0.0

※ 増減欄は、指標の値について、増加が望ましい場合に「増」、減少が望ましい場合に「減」を記入する。

3 事業費の推移と財源内訳

3 事業費の推移と財源内訳				(E) 平均人件費(円/年)	8,300,000	
年 度			基準年度(決算) (平成24年度)	平成25年度(決算)	平成26年度(決算見込)	平成27年度(予算)
(A) 事業費(円)			2,028,429	2,115,477	2,424,449	2,437,000
(B) 概算職員数(人)			0.500	0.500	0.500	0.500
(C) = (B) × (E) 人件費(円) ※自動計算			4,150,000	4,150,000	4,150,000	4,150,000
(D) = (A) + (C) 総事業費(円) ※自動計算			6,178,429	6,265,477	6,574,449	6,587,000
単位当たりコスト※自動計算			143,684.4	145,708.8	146,098.9	
財源内訳(円)	特定財源	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
	一般財源※自動計算		6,178,429	6,265,477	6,574,449	6,587,000

4 事業の項目別評価(分析)

項 目	判定基準	判定 ※一部自動判定	評価 ※自動判定
妥当性 (公費を投入して実施することが妥当な事業か)	法令等で義務付けられた事業である		B
	民間サービスで同様の事業は実施されていない、市場原理に委ねることができない	○	
	国や県において同類種の事業が実施されていない	○	
	事業開始時から事業目的や町民のニーズの変化がない	○	
	事業・サービスの提供時間帯及び場所は公平に提供されている	○	
	受益に応じた負担は適正である		
	事業の実施による効果が不特定多数の人に広く及ぶ性質である	○	
	町民の日常生活に必要不可欠な事業である		
上記のいずれにも当てはまらない			
有効性 (基準年と比較して成果が上がっているか)	成果指標について平成26年度の目標を達成している	○	A
	基準年度と比較して成果が向上している	○	
効率性 (なるべく費用をかけずに成果を上げているか)	基準年度と比較して費用の縮減ができている (費用の縮減率が成果の向上率以上か)	費用増＞成果アップ	C
有用性 (施策の成果指標の目標達成に貢献しているか)	総合計画の節の目標達成のための本事業の効果	直接的	B
	総合計画の節内での本事業の優先順位	高くない	
総合評価 ※自動判定		改善すべき点がある	

5 特記事項

効率性の判定がCとなっているが、交通安全対策の強化が求められていることや、選手の輸送バスの増加のため費用が増加したものであり、安全かつ円滑に事業を行う上では止むを得ないものとする。

6 自己評価(担当課)

評価結果	● 現状維持	○ 拡 充	○ 改 善	○ 縮 小	○ 再 構 築	○ 廃 止
理由	一概に参加チームが増加すれば良いものではなく、大会規模に見合った参加チーム数があり、現状維持が望まれる。					
今後の方向性	交通安全対策や、選手の輸送バスの増加のため費用は増加しているが、予算の増加が直接参加チームの増加に繋がるものではなく、現状維持が望まれる。					

7 1次評価(庁内行政評価委員会)

評価結果	● 現状維持	○ 拡充	○ 改善	○ 縮小	○ 再構築	○ 廃止
今後の方向性に係る意見等	効率性の判定がCとなっているのは、交通安全対策や輸送対策等で経費が増加したことによるものであり、止むを得ないものと考えられることから、所管課の方向性のとおり現状維持とする。					

8 2次評価(外部評価:行政改革推進委員会)

評価結果	○ 現状維持	○ 拡充	○ 改善	○ 縮小	○ 再構築	○ 廃止
今後の方向性に係る意見等						

9 2次評価(実施のない場合は1次評価)を踏まえた対応案(担当課)

現状のまま引き続き事業を実施する。

10 町の最終方針(行政改革推進本部会議)

評価結果	● 現状維持	○ 拡 充	○ 改 善	○ 縮 小	○ 再 構 築	○ 廃 止
理由・改善方針	現状のまま引き続き事業を実施する。					